



2013

公民館案内

No5 松戸市矢切公民館



家庭教育学級合同開級式

公民館では、家庭教育支援の中核的な事業として、「家庭教育学級」の講座を推進しています。

5月31日に行われた家庭教育学級合同開級式には、各校の学級生の代表と一般の方が参加しました。この日は、青柳洋一生涯学習部長及び鈴木正則公民館長の主催者挨拶の後、立林尚也松戸市校長会長、奈賀綾子松戸市PTA連絡協議会会長の来賓祝辞がありました。その後、コミュニケーションアドバイザー 河内理恵氏による記念講演「母が導く～キッズコーチングの極意」があり、280名を超える多くの参加者は、これから激動の日本を生き抜くには、たくましく生きる力や互いに理解しあう能力であるコミュニケーション力の大切さを実感し、家庭教育の大切さについて学習しました。



青柳生涯学習部長



鈴木館長



立林校長会長



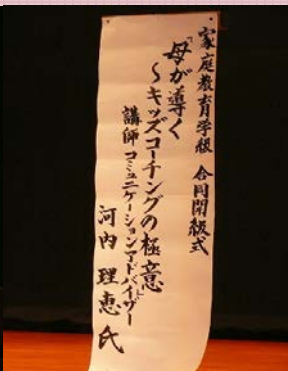
奈賀連P会長



司会 絹村



河内理恵氏



〔参加者の感想〕

- ・ 誉めるといふ事を考えさせられるとともに、河内先生の子育ての軸「人にされて嫌な事はしない」を私も軸にしていきたいと思いました。
- ・ “聴く” 耳を傾けることの大切さ、心に寄り添うこと。自分はされたら嬉しいのに、子どもには足りてなかったなと反省。もっとニコニコなお母さんでいようと思います。
- ・ コーチングのポイントを改めて確認することができました。社会人基礎力、まだ間に合うようなのでやってみます。